

令和5年3月15日(水)

文系産学連携による島根県浜田市の 食品産業振興に向けた大学の役割

—ソーシャル・キャピタル論からのアプローチ—

総合政策学部4年 遠藤圭記

目次

1.研究の目的

2.研究テーマの分野

3.研究方法

4.研究結果（一部抜粋）

(1) ソーシャル・キャピタルと文系産学連携について

(2) 浜田市の食品産業振興に資する文系産学連携の現状

(3) 課題

(4) 他大学による取組状況－立正大学 研究推進・地域連携センター

(5) 文系産学連携による浜田市の食品産業振興に向けた方策
－大学の役割発揮－

5.引用・参考文献一覧

1. 研究の目的

1. 研究の目的

文系産学連携による

島根県浜田市の**食品産業振興**に向けた

大学の役割を明らかにすること

1. 研究の目的

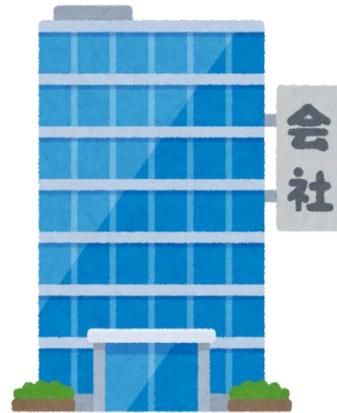
「文系産学連携」とは？

学びの機会や研究費等を提供

課題

- ・新製品の開発が進まない
- ・若者のニーズを知りたい
- etc...

産



民間企業等

それぞれの
課題を解決



文系大学

学

課題

- ・大学が有する資源を有効活用したい
- ・学生に実践的な学びの場を提供したい
- etc...

知識・ノウハウ・若い力等を提供

1. 研究の目的

背景にある問題意識①



- ・ 県西部の中核都市である一方、
産業規模は縮小傾向

[事業所数の推移]



参照：「令和3年度統計はまだ」

1. 研究の目的

背景にある**問題意識**②

原因として
「連携面の不足」 に着目

特に

「文系産学連携」
に焦点を当てる

島根県立大学・浜田キャンパスが連携の
推進に向けてどのような役割を果たしていきべきか...

具体的に明らかとなっていない

そして

1. 研究の目的

[ポイント1]

- ・ 社会のつながりがもたらす正の効果を指し示す
「**ソーシャル・キャピタル論**」からのアプローチを試みる

[ポイント2]

- ・ 対象産業を浜田市の主力産業のひとつとされる
「**食品産業**」に絞る

1. 研究の目的

改めて本研究の目的は、

ソーシャル・キャピタル
からのアプローチ

文系産学連携による

島根県浜田市の**食品産業振興**に向けた

大学の役割を明らかにすること

2. 研究テーマの分野

2. 研究テーマの分野

第2次浜田市総合振興計画「まちづくりの大綱」

協働による持続可能なまち（地域振興）

3. 研究方法

3. 研究方法



- ① 先行研究の整理
- ② 分析軸の設定
- ③ 自地域の現状調査
- ④ 課題の抽出
- ⑤ 他大学の現状調査
- ⑥ 考察
- ⑦ 方策の提言

4. 研究結果（一部抜粋）

4. 研究結果

(1) ソーシャル・キャピタルと文系産学連携について

● ソーシャル・キャピタル

- ・ 定義 「協調的行動を容易にすることにより**社会の効率性を改善できる、信頼、規範、ネットワーク**といった社会組織の特徴」 (byロバート・パットナム)
- ・ 類型
 - i) **橋渡し型**…異質なもの同士を結び付けるソーシャル・キャピタル
 - ii) **結束型**…同質な者同士が結び付く //

パットナムによる研究を通してソーシャル・キャピタルは

⇒ **社会活動の効率性**を改善するために大いに役立つ

ことが明らかとなっている

4. 研究結果

(1) ソーシャル・キャピタルと文系産学連携について

●文系産学連携

- 定義 「異なるドメインに所属する文系大学と企業というアクターの相互作用により、大学と企業および地域社会の効率性を改善できるネットワーク」
- 類型 i) **橋渡し型**…異質なものの同士を結び付ける
- 大学の役割 i) **先導役** … イニシアティブ(率先力)を発揮する
ii) **コーディネーター役**…異質なアクター同士を結び付ける

4. 研究結果

(1) ソーシャル・キャピタルと文系産学連携について

[本研究の分析軸]

文系産学連携の推進における

大学の役割

先導役

コーディネーター役

4. 研究結果

(2) 浜田市の食品産業振興に資する文系産学連携の現状

表1 調査概要表 I

インタビュー調査先	役職・氏名	調査方法	調査日
日本海酒造株式会社	代表取締役社長・藤田真路氏	対面	2022年10月14日
島根県立大学 浜田キャンパス 連携交流課	課長・雪吹重之氏、 地域連携室長・河部安男氏		
公益財団法人しまね産業振興財団 石見事務所	総務部 参事・塩村隆信氏		
主な質問事項			
・ 浜田市の食品産業に関連する文系産学連携事業の取組状況について			
・ 文系産学連携を阻んでいる障壁について			
・ 文系産学連携を推進する上で大学に求められる役割について			

★**企業・大学・支援機関**というそれぞれが異なる立場にある3者にインタビューを実施
⇒聴取内容等の集約から**偏りのない現状把握**を試みた

4. 研究結果

(2) 浜田市の食品産業振興に資する文系産学連携の現状

[**企業側**からみる現状]

- ・ 文系産学連携の取組状況

⇒ 返答1： 自社や知り合いの他社も含めてそれほど取り組まれていない印象

⇒ 返答2： 大学との接点自体がほとんどない。大学にどのような教員や学生が所属し、何を教え学んでいるのかあまり分からない

- ・ 文系産学連携を阻む障壁

⇒ 返答1： マッチング機会の不足

⇒ 返答2： 資金面の制約。その背景には市全体の活気が失われていることも関係？

- ・ 大学に期待すること

⇒ 返答1： 街づくりへの積極的な介入

⇒ 返答2： 産学による情報のアプトプットの場の提供

4. 研究結果

(2) 浜田市の食品産業振興に資する文系産学連携の現状

[**大学側**からみる現状]

・ 文系産学連携の取組状況

⇒ 返答1：過去に経営系のゼミと地元企業がタッグを組み学生が商品開発から販売まで携わった事例も有り

⇒ 返答2：KENDAI縁結びフォーラムの実績

⇒ 返答3：大学と企業をつなぐコーディネーター機能の発揮

・ 文系産学連携を阻む障壁

⇒ 返答：マッチング機会の不足

・ 大学としての展望

⇒ 返答：産学によるマッチング機会の創出

4. 研究結果

(2) 浜田市の食品産業振興に資する文系産学連携の現状

[支援機関側からみる現状]

- ・ 文系産学連携の取組状況

⇒ 返答：文系という分野に限定すると極めて少ないと思われる

- ・ 文系産学連携を阻む障壁

⇒ 返答1：認知度の低さ

⇒ 返答2：枠組みが未整備であること

⇒ 返答3：資金面の制約

- ・ 大学に期待すること

⇒ 返答1：枠組みの整備

⇒ 返答2：文系学生の役割発揮

⇒ 返答3：助成金制度の制定

4. 研究結果

(3) 課題

●先導役

①街づくりの新たな担い手

②文系産学連携ガイドラインの策定

○コーディネーター役

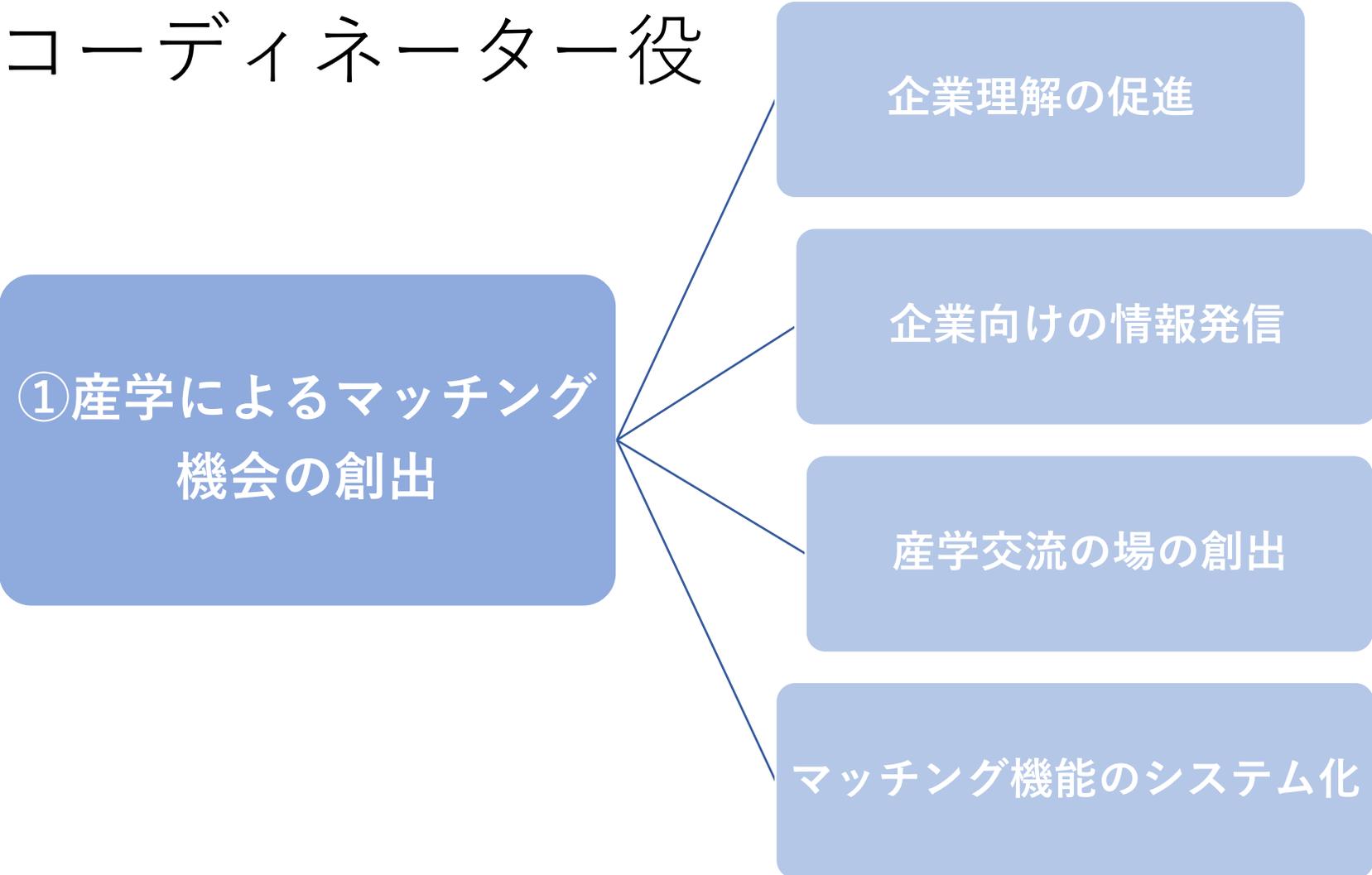
①産学によるマッチング機会の創出

②助成金制度の制定に向けた働きかけ

4. 研究結果

(3) 課題

○コーディネーター役



4. 研究結果

(3) 課題

●先導役

①街づくりの新たな担い手

②文系産学連携ガイドラインの策定

○コーディネーター役

①産学によるマッチング機会の創出

②助成金制度の制定に向けた働きかけ

4. 研究結果

(4)他大学による取組状況－立正大学 研究推進・地域連携センター

表2 調査概要表 II

インタビュー調査先	役職・氏名	調査方法	調査日
立正大学	総務部研究推進・地域連携課(熊谷担当) 折原康太氏	遠隔 (ZOOM)	2022年10月24日
主な質問事項			
・ 自地域の食品産業に関連する文系産学連携事業の取組状況について			
・ 文系産学連携を阻んでいる障壁について			
・ 上記の障壁を乗り越えるために取り組んでいることについて			

★2013年度から権田酒造株式会社と**産学連携事業を実施**する立正大学の研究推進・地域連携センターへのインタビュー調査および文献調査の結果を基に、文系産学連携に関する**参考点や障壁等を再整理**

4. 研究結果

(5) 文系産学連携による浜田市の食品産業振興に向けた方策－大学の役割発揮－

● 先導役

① **スモールスタート & スローディベロップメント
に基づく街づくり**

② **大学間ネットワークによる
文系産学連携ガイドラインの策定**

○ コーディネーター役

① **産学によるマッチング機会の創出－4つの役割から**

② **助成金制度の制定に向けた市・県への
効果的なアプローチの実施**

4. 研究結果

(5)文系産学連携による浜田市の食品産業振興に向けた方策－大学の役割発揮－

●先導役

①スモールスタート & スローディベロップメントに基づく街づくり

★小さく初めて、大きく育てていく

手順：

- 1.小さいことでも「10以上のアクティビティ」が揃う場所を探す
- 2.有機的に複数のアクティビティを結びつけていく

★ゼミ活動の一環として取り入れる

- ・実践的で学びの多いフィールドワークとなる
- ・ゼミ活動のため長期的な取組みが可能

4. 研究結果

(5)文系産学連携による浜田市の食品産業振興に向けた方策－大学の役割発揮－

●先導役

②大学間ネットワークによる

文系産学連携ガイドラインの策定

★問い合わせ～案件開始

HP上での記載：

- ・ **問い合わせ→回答→面談→案件スタート**
- ・ 文系産学連携で必要となるやりとりの**図式化**

★案件開始～終了

大学間ネットワークの形成に基づく情報共有・精査
⇒共同でガイドラインの策定に着手

4. 研究結果

(5)文系産学連携による浜田市の食品産業振興に向けた方策－大学の役割発揮－

○コーディネーター役

①産学によるマッチング機会の創出－4つの役割から

i .文系学生による企業理解の促進

ii .研究シーズ公表による企業向けの情報発信

iii . KENDAI縁結びフォーラムの利活用による産学交流の場の創出

iv .マッチング機能のシステム化

・ 問い合わせページの改良 / 地域コーディネーターの登用と活用

4. 研究結果

(5)文系産学連携による浜田市の食品産業振興に向けた方策－大学の役割発揮－

○コーディネーター役

②助成金制度の制定に向けた市・県
への効果的なアプローチの実施

★アプローチに至り、

- ・文系産学連携に関する**取組事例を多く精査**すること
- ・その**必要性を明確化**させておくこと

} が不可欠

⇒**大学間ネットワーク**を形成して、
大学の垣根を越えた**盛んな情報共有**をしていくことが有益

5. 引用・参考文献一覧

5. 引用・参考文献一覧（五十音順）

- ・ 稲葉陽二『ソーシャル・キャピタル入門―孤立から絆へ』中公新書、2011年。
- ・ 株式会社ambientホームページ「助成金と補助金」https://joseikin-mikata.com/josei_hojo/（2022年12月9日アクセス）
- ・ 公益財団法人しまね産業振興財団ホームページ<https://www.joho-shimane.or.jp/>（2022年10月20日アクセス）。
- ・ 国立大学法人福井大学ホームページ「研究・産学連携」https://www.u-fukui.ac.jp/cont_scholar/（2023年3月8日アクセス）
- ・ 権田酒造株式会社ホームページ<https://www.gondasyuzou.com/>（2022年11月13日アクセス）。
- ・ 埼玉県熊谷市ホームページ「熊谷市の人口」https://www.city.kumagaya.lg.jp/about/gaiyo/kumagayasin_ojinkou.html（2022年11月16日アクセス）。
- ・ 埼玉県ホームページ「埼玉県市町村民経済計算」<https://www.pref.saitama.lg.jp/a0206/shichosonmin.html>（2022年11月16日アクセス）。
- ・ 島根県政策企画局統計調査課「令和元年度島根県市町村民経済計算の概要」<https://pref.shimane-toukei.jp/upload/user/00023121-vYM3kv.pdf>（2022年11月16日アクセス）。
- ・ 島根県浜田市「新市まちづくり計画」12-14頁。<https://www.city.hamada.shimane.jp/www/contents/1001000003006/simple/shinsshi201216.pdf>（2022年11月30日アクセス）。
- ・ 島根県浜田市「令和3年度 統計はまだ」30頁。https://www.city.hamada.shimane.jp/www/contents/1656054803499/simple/R3toukeihamada_2.pdf（2022年10月20日アクセス）。

5. 引用・参考文献一覧（五十音順）

- ・ 島根県浜田市ホームページ「浜田市の人口・世帯数」 <https://www.city.hamada.shimane.jp/www/contents/1392249651979/index.html>（2022年11月16日アクセス）。
- ・ 島根県浜田市ホームページ「浜田の水産～浜田漁港水揚高」 <https://www.city.hamada.shimane.jp/www/contents/1001000002240/index.html>（2022年10月20日アクセス）。
- ・ 島根県立大学久保田典男研究室「水産加工業活性化に関する調査－浜田市水産加工業者の事業拡大に向けて」2014年。
- ・ 島根県立大学ホームページ <https://www.u-shimane.ac.jp/>（2022年10月30日アクセス）。
- ・ 新村出編『広辞苑 第六版』岩波書店、2008年。
- ・ 日本海酒造株式会社「日本海酒造 オンラインストア」 <https://kan-nihonkai.shop/>（2022年10月20日アクセス）。
- ・ 浜田市議会ホームページ「総務文教委員会記録」2-9頁。 https://www.city.hamada.shimane.jp/www/gikai/contents/1642376899025/simple/R040928_soumubunkyou_kaigiroku.pdf（2022年11月13日アクセス）。
- ・ 原山優子「日本における産学連携」『RIETI Policy Discussion Paper』4号、3頁、2003年。
- ・ 「街づくり『できるだけ小さく』始めるのがいい理由」『東洋経済ONLINE』2021年12月14日 <https://toyokeizai.net/articles/-/472983>（2022年11月30日アクセス）。
- ・ 文部科学省ホームページ「参考資料1大学分科会制度部会での審議の中間的な整理」 https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo4/gijiroku/attach/1412879.htm（2022年10月20日アクセス）。

5. 引用・参考文献一覧 (五十音順)

- ・吉田健太郎編『地域再生と文系産学連携－ソーシャル・キャピタル形成に向けた実証と検証』同友館、2014年。
- ・立正大学研究推進・地域連携センターホームページ「お知らせ一覧」<https://rpra.ris.ac.jp/news/> (2022年12月9日アクセス)。
- ・立正大学研究推進・地域連携センターホームページ「研究シーズ」<https://rpra.ris.ac.jp/seeds/> (2022年1月11日アクセス)。
- ・立正大学 研究推進・地域連携センターホームページ「センターについて」<https://rpra.ris.ac.jp/> (2022年1月13日アクセス)
- ・立正大学ホームページ<https://www.ris.ac.jp/> (2022年11月13日アクセス)。
- ・ロバート・パットナム『哲学する民主主義-伝統と改革の市民的構造』河田潤一訳、NTT出版、2001年。
- ・ロバート・パットナム『孤独なボウリングー米国コミュニティの崩壊と再生』柴内康文訳、柏書房、2006年。
- ・ZEKKEI JAPAN「故郷の懐かしさを感じる！ 島根県浜田市のおすすめ観光スポット」<https://jp.zekkeijapan.com/article/index/1458/> (2023年3月8日アクセス)